

社会環境に関するアンケート調査結果 2009 定額給付金では足りない?! 国民がいま一番欲しいのは「お金・経済力」

ノルド社会環境研究所（本社：東京都中央区、代表取締役：久米谷弘光）は今年 7 月、社会環境の変化に関する定点観測調査として、2007 年、2008 年に引き続き、全国の 20 歳～59 歳の男女個人 2,000 人（有効回収）を対象に、世の中のさまざまな事象に対する意識を尋ねる Web アンケート調査を実施いたしました。

この調査では、世相を映す鏡として、「あなたが、いま一番欲しいものをひとつだけ具体的に記入ください」という質問を設けています。その結果の概要は、以下の通りです。

● 欲しいもの、「お金」以外なら「車」「テレビ」「家」「時間」

今年、いま一番欲しいものは「お金・経済力」（21.7%）で、2 位以下を大きく引き離す結果となっています（図 1）。

次に多いのが「車」（8.3%）で、以下、「テレビ・地デジチューナー」（6.2%）、「家」（6.2%）、「時間」（5.4%）が続いています。

トップ 5 にあげられるのは、ここ 3 年いずれも同じ項目ですが、今年は「テレビ・地デジチューナー」が順位を 3 位に上げ、「時間」が 5 位に下がっています。

● お金で買えない「仕事・就職先」「結婚相手・恋人」への欲求も

6 位以下に目を向けると、項目の入れ替わりが目立ちます。「太陽光発電設備」は、昨年の 11 位から 7 位に順位を上げています。

今年、トップ 15 に新たにランクインしたものには、「ブルーレイレコーダー」「自転車」「冷蔵庫」「洗濯機」といった実用品があります。また、「仕事・就職先」「結婚相手・恋人」「安全・安心」といった、生活の安定に対する欲求がうかがえる項目もランクインしています。

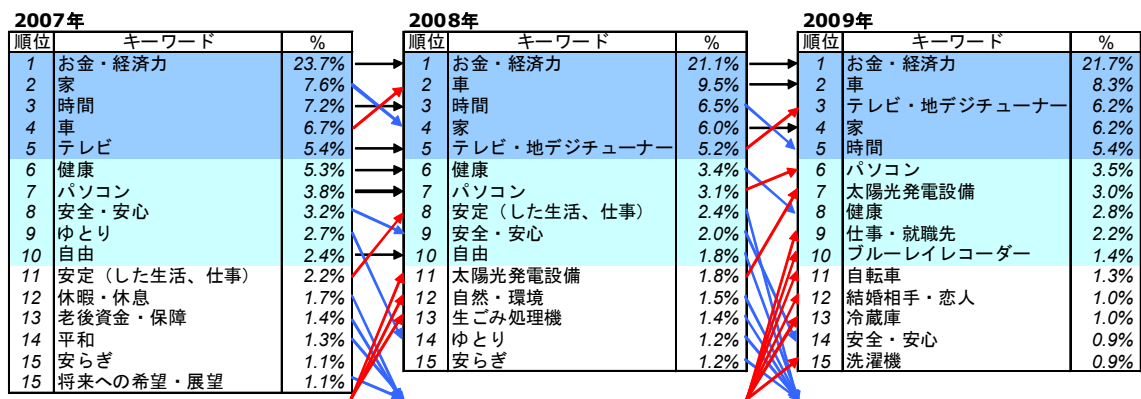
● 欲しい車、「エコカー」が半数以上を占める

今年も 2 位になった「車」では、ハイブリッドカーや電気自動車といった「エコカー」が 50.6%を占めています（図 2）。昨年の調査と比べて、その割合はやや小さくなっているものの、引き続き過半数を占める結果となりました。

さらに内訳を見ると、「エコカー」という回答が昨年に比べて大きく増え、最も多くなっていることがわかります。エコカー減税およびエコカー購入補助の導入が、消費者心理に大きな影響を与えたと思われます。

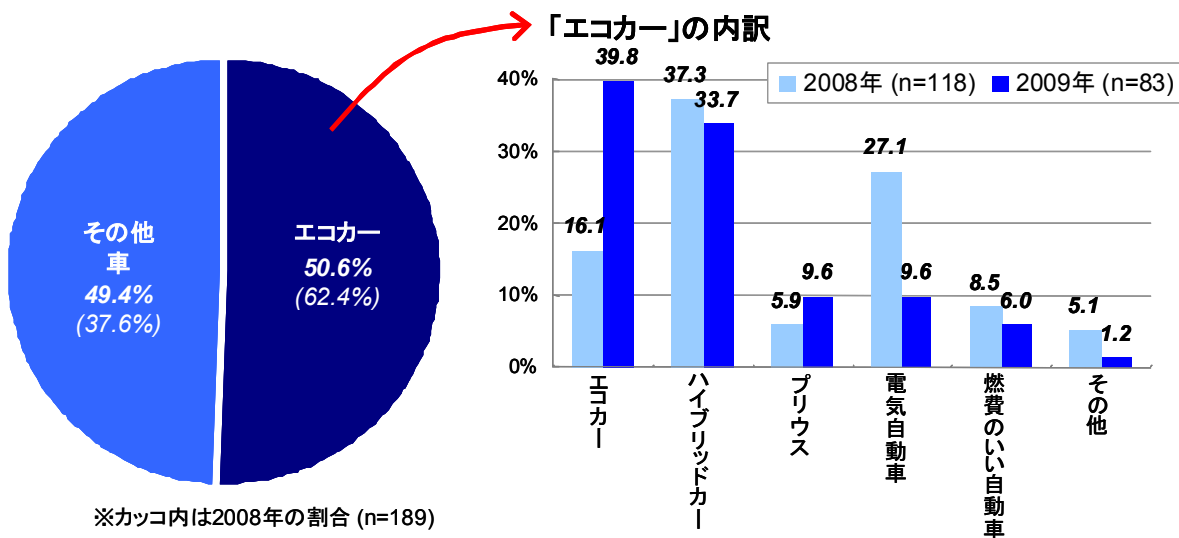
図 1: 「いま、一番欲しいもの」の推移
(2007年～2009年、自由回答) [N=2,000]

問：あなたが、いま一番欲しいものをひとつだけ具体的に記入ください。



※回答内容は、同義語をまとめ、整理しています。

図 2: 「車」に占めるエコカーの割合(2009年) [n=165]



本調査の概要

本調査は、ノルド社会環境研究所の自主調査「社会環境に関するアンケート調査」の一環として行いました。その概要は以下の通りです。

調査対象：全国の20歳～59歳の男女個人(インターネットユーザー)

調査方法：Web アンケート

サンプル抽出方法：生活者モニターからの無作為抽出(性・年齢・地域別の人口比に応じて抽出)

有効回収集計対象サンプル数：2,000 サンプル

調査時期：2008年7月10日～17日

※2007年、2008年調査は、同様の方法で2007年7月、2008年7月にそれぞれ実施しました。

株式会社ノルド社会環境研究所

“ピープルズシンクタンク”を理念とする独立系の民間調査研究機関。社会環境政策、地域計画、マーケティング、CSR、広報・コミュニケーション分野の調査研究及びコンサルティングを行なっている。

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所
東京都中央区京橋1-9-10 フォレストタワー 電話 03-5524-7333 担当:十森
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>